

地域農業を支え、文化や景観を繋いでいきたい

第9期新興塾生

和田地区 赤羽 悟



私は3年前に水稲経営している親元へ就農しました。1年目は右も左も分からず、目の前の仕事に取り組み毎日でしたが、2年目からは徐々に様子も分かってきたこともあり、米作りの勉強会や経営の勉強会、その勉強を踏まえた栽培方法や経営方針など、発見や失敗を繰り返しながら取り組んできました。

そんな時に、地域営農リーダー育成塾である「新興塾」の募集があり、何事もチャレンジしたいという思いから入塾を希望しました。T P P問題など農業を取り巻く環境は決して良いとは言えない中、これからの地域農業を保全し、文化や景観を継承していくのが、

営農リーダーの使命であると考えています。新興塾では、各地域の仲間たちとそのテーマについて考え、日々勉強に励んでいます。

先日、新興塾では「田んぼフェスタ」と題し、市内の保育園児を対象に、食と農のつながりを伝えるイベントを開催しました。稲刈りから精米までを手作業で行い、その場で新米を炊いて試食してもらいました。初めての農作業に子どもたちは喜び、おがご飯だということに驚くなど、興味津々の様子でした。このような取り組みが、地域住民の農業への理解を深め、農業の大切さ、地産地消などにつながっていけば良いと考えています。



田んぼフェスタにて

がんばっています

みどりの風プロジェクトに参加中

寿地区 草間 弘秋

我が家は家族経営の稲作農家としております。農業に出会い、十数年が過ぎようとしています。まだまだ勉強することの毎日ですが、毎年毎年、同じことの繰り返しですが、近年の異常気象や天候の影響を受ける仕事であるということと、販売価格の下落、T P P問題など、いろいろ考えさせられることや工夫しながらやっていかなければいけないので、試行錯誤しながら、あつという間に十数年が経ってしまいました。

そんな中で6年前、JA松本ハ일랜드青年部の「みどりの風プロジェクト」に参加し、結婚ということになりました。松本城本丸庭園での結婚式を特別に許可していただき、一生の思い出に残る素晴らしい経験をさせていただきました。

このプロジェクトは、農村の男性と都市部に住む女性との交流事

業で、平成19年より毎年、春から秋まで行われています。農家が一番力を発揮できる畑での交流という事で、一緒に作物を育てる経験をし、自然と打ち解けあえるのが良かったと思います。また、松本市周辺の観光地を訪れたり、イベントに参加し、松本に住む青年部員も、改めて松本の良さや良い場所を発見できたり、新たな仲間作りもできる場でもありました。長男にも恵まれ、これからは新しい家族と、農業を通じて生まれる育った地域へ貢献していくとともに、美しい農村風景を守って行きたいと思っています。



松本城での挙式